

提案型協働事業評価シート

資料 4

実施年度	令和 6 年度
事業の名称	世界が広がる！学校では教えてくれない授業～古代エジプトと現代日本の比較～時代と国境を超えた衣食住の違い～
団体名	富士見三芳稲門会
担当課名	文化・スポーツ振興課

【推進委員及び市内委員による総合評価】

結果	協働事業の評価
○	当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。
	ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。
	協働事業として、うまく機能しなかった。
協働事業に関する総評	
実施団体と担当課の間で、定期的な打ち合わせを複数回行い、互いに目的や情報を共有し、昨年度からの事業実施により培われた信頼関係のもとで対等な立場で事業に取り組んだことが協働事業として評価できます。 昨年度のアンケート結果から、テーマの選定を行い、定員80名を大きく上回る113名の応募があったことから、市民からの高いニーズが伺えます。イベント内容は、講師によるピラミッド・スフィンクスの解説や、現代と古代エジプトの衣・食・住の比較など講義のほか、団体によるエジプト式のじゃんけん大会、エジプト古代文字ヒエログリフのワークショップを交え、参加者の学びへの好奇心を満たす充実した内容となりました。参加者アンケートからも高い満足度があり、異文化や歴史についての理解の深まり、国際理解の促進につながったことが伺えます。また、講師には団体独自のネットワークを生かし、早稲田大学考古資料館学芸員である馬場氏を迎え、講師が考古学者を目指したきっかけや、その夢をどのように叶えたか、また、考古学者となり海外で行う発掘調査の難しさ、それを乗り越えて国籍や言語の違いを超えて協力し、新たな発見に繋がった喜びを、講師の経験やエピソードから学ぶことができ、参加した子どもたちに国際的な視野と夢に向かって努力する大切さを感じる機会となったことが伺えます。今後の実施については、アンケート結果を活かし、時間配分などを検討した上で、子どもたちの国際感覚を養う豊かな学びの場を提供して頂くことを期待いたします。	

